

2023年度の議論の進め方

1. 背景

本WGは、2050年GHG排出ゼロの実現は海事産業に与える影響が大きく、海事産業が直面する課題等を把握し、GHG排出削減を好機とする方策について検討を行うために設置されたものである。具体的には、IMO GHG削減戦略の改定に合わせて、2050年GHG排出ゼロの実現を海事産業の競争力強化につなげるべく、必要な方策をロードマップとして示すこととしている。2022年度は、業界内外へのヒアリングにより、国際海運のGHG排出ゼロを進める上で海事産業が直面する課題等を把握し、必要な対応の方向性について検討を行ったところである。

国際的な動向については、本年7月、予定していたスケジュール通り、MEPC80において2023 IMO GHG削減戦略（以下「2023戦略」）が採択されている。当該戦略では、「2050年頃までにGHG排出ゼロ」、「2030年までにゼロエミッション燃料等の使用割合5～10%」とすること等が新たな削減目標として追加されたことに加え、中期対策として燃料GHG強度規制（GFS:GHG Fuel Standard）と経済的手法について検討を行い、2027年中の導入を目指すとしている。

2. 検討事項

（1）2023戦略等を踏まえたロードマップの検討

2023戦略では、2030年の削減目標としてゼロエミッション燃料等の使用割合5～10%が示されており、2027年中に導入が予定されているGFS等の中期対策は、少なくとも当該目標の達成を担保するよう制度設計される可能性が高い¹。

2022年度、本WGでは、海事産業のステークホルダーへのヒアリングを通じて、国際海運のGHG排出ゼロに向けた課題等を把握し、必要な対応の方向性について検討を行ったところである。これを踏まえ、2023年度においては、国際海運のGHG排出ゼロに係る動向等を踏まえた当面の見通しを示した上で、2030年という期近の対応策が必要であることを念頭に前提に、必要な対応策のロードマップについて検討を行う。

また、国際海運GHGゼロエミッションプロジェクトでは、2020年3月、国際海運のゼロエミッションに向けたロードマップを策定しており、その内、制度面の環境整備に関するロードマップについては、2023戦略やIMOにおける最新のルール等の検討状況を踏まえてアップデートを行う。

（2）国際海運のGHG排出ゼロに係る課題に関連する対応の共有

2022年度、本WGにおいて洗い出した課題やその対応について、それらの一部は

¹ 2018年に採択された初期戦略（以下「初期戦略」）では、2030年に炭素強度40%削減（2008年比）が目標として掲げられ、その後、当該目標を達成するための対策が検討され、既存船のCO2排出削減対策としてEEXI（Energy Efficiency Existing Ship Index）、燃費格付制度（Carbon Intensity Indicator）が導入された経緯がある。

既に調査検討を開始している。また、国土交通省では、GHG排出ゼロを背景としたものではないが、船舶産業の次世代船舶の建造等に係る技術力・生産性を含む現状の分析、それを踏まえた変革のためのロードマップ作成のための検討も開始している。これらの検討結果については、2050年GHG排出ゼロの実現を海事産業の競争力につなげる方策の一部としてロードマップに含めるべきものであることから、本WGにおいてこれらの取組について共有を行う。

(3) その他

国際海運のGHG排出ゼロに関して、例えば以下のような、継続的な動向確認が必要な事項や今後重要なテーマとなり得る事項について洗い出しを行い必要な検討を行う。

- ゼロエミッション燃料の供給に係る動向
- ゼロエミッション燃料の認証に向けた対応
- 国際海運の2050GHG排出ゼロの道筋 等

3. スケジュール (案)

8月	第1回WG (1) 2023年度の議論の進め方 (2) 2023 IMO GHG 削減戦略の概要とポイント等 (報告) (3) 国際海運 GHG 排出ゼロの実現と海事産業の競争力強化に必要な対応の実施状況
9月～11月	第2回WG (1) 国際海運のゼロエミッション化に向けた2元燃料船の発注等の動向 (2) 燃料GHG強度規制 (GFS) の制度設計やGFSを踏まえた船隊の燃料仕様転換に関する見通し (運輸総合研究所) (3) 国際海運 GHG 排出ゼロの実現と海事産業の競争力強化に必要な対応の実施状況 (必要に応じて)
12～1月	第3回WG (1) 日本海事産業が直面する課題に対する必要な対応のロードマップ (2023 戦略や IMO における最新のルール等の検討状況を踏まえた制度面のロードマップの改定を含む) (2) 国際海運 GHG 排出ゼロの実現と海事産業の競争力強化に必要な対策の実施状況 (必要に応じて)
3月	第4回WG (1) WG報告書
3月	第2回ゼロエミッションプロジェクト (WGの報告)

以上